



同窓会総会が行われました

本校は今年で開校 55 周年を迎えます。6 月 17 日（土）には、同窓会総会を 4 年ぶりに開催することができました。予想をはるか上回る 150 名近い皆さんがご参加くださいました。松本に拠点を置く「ケ・セラ」さんのコンサートは、どの曲も知っているものばかりで会場は大盛り上がり。演奏している皆さんも障がいのある方々なのですが、ギターやキーボード、パーカッション等、素晴らしい演奏でした。休憩時間や会の終了後には、懐かしい友達や先生方と思い出話に花が咲き、久しぶりの再会に同窓生の皆さんはもちろん、保護者の皆さんもとてもうれしそうでした。卒業後もこうして集える場を大切にしていきます。



一人ひとりに応じた卒業後の生活を目指して



6 月 7 日～6 月 30 日まで高等部の現場実習（産業現場等における実習）でした。現場実習は、生徒の側からすると、地域の福祉事業所や企業等で体験、実習をし、地域社会の中で生活したり働いたりすることを通し、卒業後の自分のイメージを持ちながら、自分の適性や課題を見極め、進路選択の参考にするものです。一方、事業所側からすると、障がいのある生徒やその支援方法を理解する機会となっています。毎年、春と秋の 2 回、約 3 週間実

施しますが、生徒によってはこの期間に限らず、他期間に実施する者もいます。また、校内では箱折や部品の組み立てといった企業からいただいた作業を行う校内実習も行われていました。現場実習は、挨拶や報告といった働く（生活する）上でのコミュニケーション、働き続ける力等を育む貴重な機会となっています。保護者の方とも相談しながら、個に応じた卒業後の生活を考えていきます。

地域の方々との交流

更級農業高校に隣接している分教室には、計 21 名の高等部の生徒が生活しています。6 月 24 日、高 3 生がうどんづくりをしていました。コロナもあってしばらく実施できなかったようですが、地域の方を講師に招き、粉を手でこねたり足で踏んだりしながら生地を作り、のし棒で生地を伸ばし包丁で切って、うどんを作っていました。教えてくださる方々との会話も弾み、一生懸命うどんを作っていました。作ったうどんはみんなで食べたりお家へのお土産にしたりしたようです。地域の方々との活動も少しずつコロナ前に戻っていきます。

